

中経連初女性理事に北川氏

東海東京証券社長 副会長 中電社長ら



北川尚子氏

中部経済連合会（中経連）は、東海東京証券の北川尚子社長（57）を理事に起用する方針を固めた。一般企業の役員ポストに相当す

る理事に女性が就くのは、中経連が1951年に発足して初めて。女性が能力を発揮しやすい地域経済の実現に向けて財界活動を推し進める。6月18日の定時総会で正式決定する。

北川氏は東海東京証券で初の女性社長を務め、昨年6月から持ち株会社の東海

東京フィナンシャル・ホールディングス（FHD）で取締役を兼務。中経連は女性の活躍を後押しするため、企業の女性幹部でつくる独自組織「なでしこの会」の設置や中期の視点に立った人材育成の機運づくりに取り組んできた。

副会長には、中部電力の林欣吾社長（64）、百五銀行の杉浦雅和頭取（68）、静岡銀行を傘下に持つしずおかフィナンシャルグループ（FG）の柴田久社長（61）、セイコーエプソンの小川恭範会長（63）が内定する見通し。現副会長のうち、しずおかFGの中西勝則会長、セイコーエプソンの確井稔

北川 尚子氏（きたがわ・なおこ）愛知淑徳大卒。90年、東海東京FHDの源流の1社に当たる丸万証券入社。東海東京証券の小牧、豊田支店長などを歴任し、13年に執行役員。専務執行役員や副社長を経て23年4月から社長。愛知県出身。

相談役、百五銀の伊藤歳恭会長は退任する。理事は現在、中部5県（愛知、岐阜、三重、長野、静岡）の有力企業や大学のト

ップら23人で構成。北川氏は24人目の理事となる。定時総会後の理事会で会長1人と副会長16人が選ばれ

力相談役）の後任に、勝野哲副会長（同会長）が就任する人事は内定。副会長は退任する3人と勝野氏を除く全員が続投する。